

轍

WADACHI

二十歳の集い

を振り返り

新たな一步を踏み出す

今年のテーマは、「轍」^{わだち}。これまでの軌跡を振り返り、未来へのスタートを切ってほしいという思いが込められています。二十歳を代表して平松萌々子さんが、「周りの人への感謝の気持ちを忘れず、明るい未来の一翼を担えるよう精進していきます」と今後の抱負を述べました。会場では、恩師のビデオメッセージ上映や総社吹奏楽団、SKYMジュニア・ウインドアンサンブルの演奏などが行われ、会場は和やかな雰囲気になりました。また、参加者には記念品として、障がい者就労継続支援事業所が製作したデニム生地のカードケースが贈呈されました。

決意を心に刻み
未来へ歩んでいく

1月8日に市民会館で二十歳の集いが開催され、令和4年度に二十歳を迎える522人が参加しました。西日本豪雨災害発生時、当時高校1年生だった彼らは、率先してボランティアとして復興に尽力。総社の復興を支えた彼らが、二十歳の節目を迎えました。

復興を支えた若者が
二十歳の節目を迎える



1万人目の認知症サポーターに認定された常盤小学校4年生全員へ賞状が贈呈された

認知症サポーターを知っていますか。特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、できる範囲で手助けをする「応援者」です。市は、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、平成19年から認知症サポーター養成講座を開催。昨年10月に受講した常盤小学校4年生が、1万人目のサポーターに認定されました。認知症は、誰でもかかる可能性のある脳の病気です。あなたやあなたの大切な人の「もしも」のためにも、認知症のことを学んでみませんか。

問い合わせ 長寿介護課地域
ケア推進係 (☎0866-92
-8373)

認知症サポーター 認定者

認知症になっても
安心して暮らせるまち
そうじゃ

1万人 達成



Q. 養成講座では何を学べる？

認知症の症状やその予防、認知症の人と接するときの心構えなどを学びます。認知症の知識をもつ講師がスライドや動画を使って分かりやすく説明します。大人は90分程度、子どもは50分程度の講座です。

受講者の声 /

「驚かせない」、「急がせない」、「傷つけない」の3つが大切だと学びました。



常盤小4年生



60代 女性

人としての尊厳を大切にすることと、病気への正しい理解が必要ですね。

Q. 養成講座を受けるには？

10人程度以上の団体を対象に、出前講座を開催しています。受講を希望する団体は、長寿介護課か地域包括支援センターへ相談してください。個人で受講を希望する場合には、市で開催する養成講座に参加してください。開催情報は、『広報そうじゃ』などでお知らせします。



常盤小学校で開催された認知症サポーター養成講座

認知症をもっと知ろう

認知症の普及・啓発についての展示を行います。(10ページに関連記事)

日時 2月1日(水)～19日(日)(休館日を除く)、午前9時から午後6時まで

場所 市図書館